



上山小学校「風のたより」

令和5年9月15日（金） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する

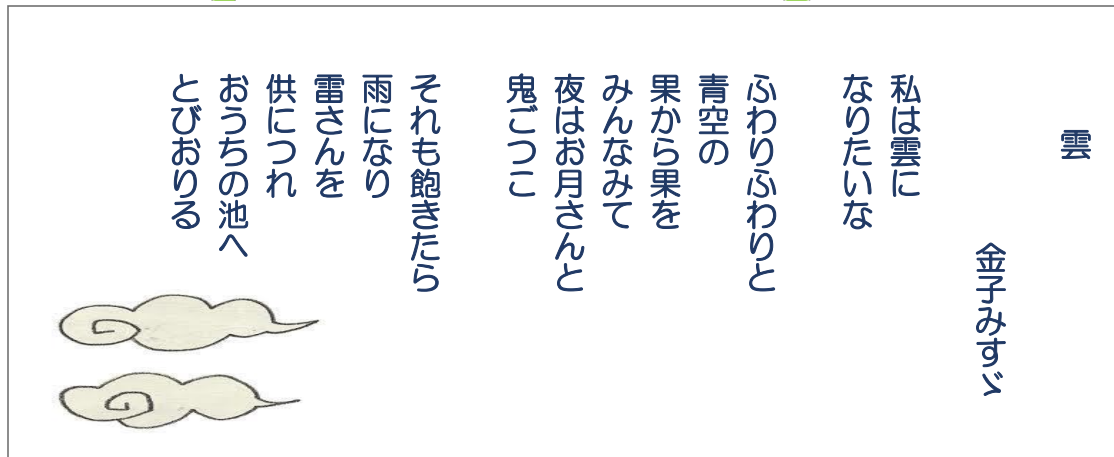


危機管理の難しさ！

先日、幼児が真夏の車の中に置き去りにされた痛ましい事故がありました。日頃のルーティンに慣れてしまっている私たちが陥りそうな事案です。過去に諫早市でも大雨の時、子供が側溝に落ち、数km先まで流され死亡する事故も起きています。胸が苦しい出来事でした。



9月14日早朝（登校時間帯）、諫早市上空に線状降水帯が発生し、猛烈な雨と雷が鳴り響きました。学校としての判断は6時30分に行いました。内容は「安全を確保したうえで10時までに登校」というものでした。その後6時40分頃には安心メールで各家庭や関係の皆さんにお知らせいたしました。保護者の皆様には、お仕事の都合等で子供だけ家に残さなければならない状況があるなど、ご迷惑をおかけしたことと思います。お知らせをもう少し早くしてほしい旨のご意見もいただきましたので、事ある毎に検証しながら、時々に応じた対応を行えるように備えたいと思います。



いよいよ本番

6月から始まったのですから、なんと2か月半に渡る練習が積み重ねられました。それは、以前お知らせいたしました南諫早支部自治会連合会による「龍踊」です。毎週月・水・金の三日間の練習が積み重ねられ、いよいよ9月17日に「のんのこ諫早まつり」本番を迎えます。



私は、「龍踊」については素人ですからその上手下手を語れませんが、練習が始まった当時からすると、龍に表情が出てきたというか、感情が出てきたというか・・・とにかく、龍に命が吹き込まれているのがわかります。龍衆の皆様は疲労困憊であろうと察しますが、成功を願う熱心なスタッフの皆さんのサポートや幼児から大人までのお囃子衆の頑張りが集結して、見事に仕上がっております。この積み重ねと団結が、大勢の皆様方の前で披露されることを想像するだけでワクワクします。「龍踊」は、雨乞いの儀式であると聞きましたが、どうか本番の日には、青空に舞う龍の姿を見たいものです。

加えて、「龍踊」の前日(16日)には、上山小学校5・6年生児童による「まつりのんのこ」が披露されます。運動会で練習してはいるものの、その後の練習がなかなかできなかつたので、やや心配ではありますが、「情やま笑」で明るく元気に踊りましょう！お祭りの楽しい雰囲気と共に味わいましょう。(*^*)v

日本が誇れること

各種スポーツの世界大会が世界各地で開催されております。我が国日本が活躍する傍らで称賛されていることがあります。皆さんご存知のように、日本選手団が使用したロッカールームや日本の応援団がいたスタンドには、ごみ一つ落ちていないといわれています。どんなに強豪国であろうと、人として高まっていないのでは本末転倒であると思えます。写真は、上山小の前にいつも落ちているごみと吸い殻です。(=.=)



☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。